

便秘症の新しい薬「グーフイス錠」と大腸内視鏡検査について

E Aファーマは、胆汁酸トランスポーターを阻害する便秘薬**グーフイス錠5mg**（一般名・エロビキシバット水和物）について、慢性便秘症の適応で国内製造販売承認を取得しました。



グーフィスは1日1回経口投与の慢性便秘症治療薬。胆汁酸の再吸収に係わる回腸末端の胆汁酸トランスポーター（IBAT）を阻害して、大腸内に流入する胆汁酸の量を増加させ、水分分泌と大腸運動促進の2つの作用で自然な排便を促すことが期待されています。



便秘薬の使用にあたっては、大腸内視鏡検査により、「大腸がんなどの器質的疾患による便秘」を除外する必要があります。

